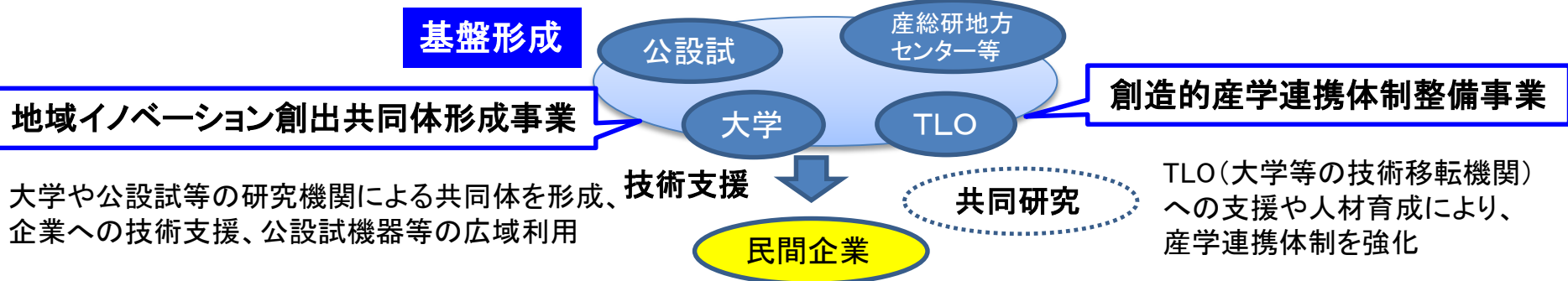


プログラムの概要

【事業期間】平成20～24年度 【事業費】約280億円

総合科学技術・イノベーション会議(第7回)【H27.1.13】資料

地域における裾野の広い持続的な経済成長を可能とするため、企業の取り組みを支援する共同体や連携体制の整備を進めるとともに、技術シーズの事業化に向けた共同研究開発を支援。



地域イノベーション創出研究開発事業

地域の企業、大学、公設試等のリソースを組み合わせた研究体が行う実用化研究を支援

- ・261研究課題を実施
- ・目標:事業終了3年後の事業化率40%

大学発事業創出実用化研究開発事業

大学の技術シーズに、企業のリソースを組み合わせた実用化研究を支援

- ・52研究課題を実施
- ・目標:事業終了後3年経過後の事業化率25%

評価結果①

○ **共同体形成事業等により、地域イノベーション創出の基盤**となる9つの**技術プラットフォーム**を構築。
(例: 中部ブロックの精密機器加工分野等、四国の食品・健康分野等を中心とした取り組み)

→ 引き続き、プラットフォームの機能強化やイノベーション創出効果の発現に向けた取り組みに加え、
地域プラットフォーム間のネットワーク化の取組が重要。

○ **研究開発事業の事業化率に関する目標は未達成**(21.8%／目標40%、11.5%／目標25%)だが、約半数の研究課題が目標評価期間に達していない。

→ 自己資金等による研究開発が継続されており、**目標達成に向け、引き続きフォローアップが必要。**

研究開発成果の事業化事例

『新規化学法による希少糖含有異性化糖の生産技術の開発』（四国）

【参画機関】

・松谷化学工業(株)、合同会社希少糖生産技術研究所(PM)、香川大学、公益財団法人かがわ産業支援財団(管理人) 他

- ・希少糖は、自然界に少量存在する糖。脂肪蓄積抑制、動脈硬化予防、血圧上昇抑制等の作用。
- ・希少糖を含む「レアシュガースウィート」の安全・安価な大量生産技術を確立し、製品化。累計80万本、約10億円を売上げるヒット商品に。
- 他企業への波及効果として、400品目以上の関連商品が製品化。

「レアシュガースウィート」 関連商品例



(キリン 別格 希少珈琲)

事業化事例等における成功要因

- 研究課題毎のプロジェクトマネージャー(PM)における、市場調査、ユーザー企業のニーズの把握、販路開拓等の積極的取組。
- 先進的なTLO(大学等の技術移転機関)における、企業ニーズに基づく市場調査やユーザー企業との直接の連携によるニーズの把握、企業のニーズと複数の大学・研究機関の技術シーズの広域型のマッチング等。



評価結果②

- 成功事例の分析の深掘りとモデル化**により、成功要因や教訓、マネジメント人材の適性等の**ノウハウ**をドキュメント化し、**他地域とも共有**することが重要。
- 今後の政府全体の取組においても、こうした事例分析に基づき、**地域の強みを適切に評価した上で効果的な施策の投入**を行うべき。